

新規事業の紹介

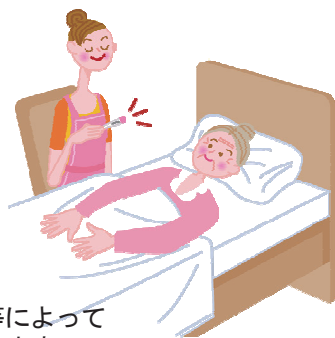
平成24年4月より

定期巡回・随時対応サービスを始めました。

2012年4月から新しい介護保険制度がスタートしました。今回の改正のポイントの1つが、団塊の世代の高齢化が本格化する2015年度以降を視野に入れた中で、高齢者が住み慣れた地域で医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目無く提供できる『地域包括ケアシステム』の実現に向けたものとなっています。そこで新たに創設されたサービスの1つが「定期巡回・随時対応サービス」です。

概要

正式名称は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」といいます。単身者や中・重度の要介護者でも、介護を受けながら住み慣れた地域で在宅生活が続けられるように、日中・夜間を通じて、ヘルパーや看護師が一日複数回の「定期巡回訪問」と、24時間365日対応可能な連絡窓口（オペレーター）を配置し、利用者からの連絡により対応・訪問を行う「随時訪問」とを組み合わせたもので、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するサービスです。



対象者

要介護1以上の方。

利用料

1か月単位での定額制です。※要介護度やその他事業所の体制等によって加算等があり、料金が異なります。

在宅介護事業部 ホームヘルプサービスチーム 副主任：田本より皆さまへ

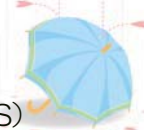
新サービスを担当させていただく田本です。この制度は、従来のヘルパーの利用方法に捉われない幅広い活用（安否等確認、服薬など）が可能です。また、日中常の利用に留まらず、終日（早朝・深夜帯等）に渡ってヘルパーとの関わりが持てますので、在宅生活継続の可能性が広がります。「どのような方が利用対象になるのか?」、あるいは「どのような利用方法があるのか?」など、お気軽にお問合せ下さい。



ご利用に関することは、電話：0557(36)9069 までご連絡下さい。

編集後記

このほど梅雨入りが発表され、今年も雨の季節が始まりました。これからひと月あまりはジメジメ、ムシムシする鬱陶しい日々が続きます。梅雨は気温や湿度の変化が激しいため、体調変化が表れやすい時期です。だるさや疲れを貯めたままだと、暑い夏が来る頃にはバテバテに…。梅雨の体調管理には一層気をつけたいものです。梅雨が明けると、次は世界中を熱狂させるビッグイベントが英国・ロンドンで始まります。各国のトップアスリートがしのぎを削り、国の代表として頂点を目指す、スポーツの祭典「オリンピック」です。水泳の北島康介選手の3連覇やサッカーなどでしご日本の話題など、今から日本選手への期待や楽しみは膨らむばかりですが、オリンピック同様にその後の「パラリンピック」にも是非注目をしてみてください。(H・S)



伊豆介護センターの運営施設と事業内容

- 伊豆介護センター本社 / フルーズ
〒414-0032 伊東市音無町5-6
電話0557-36-9069 FAX0557-36-1646
- クラシオン / クラシオンカフェ
〒414-0015 伊東市末広町6-1
電話0557-36-7478 FAX0557-36-7477
- クラシオンホテル
〒414-0044 伊東市川奈1220-1
電話0557-44-5110 FAX0557-44-5115
- クラシオン富士見
〒414-0045 伊東市須須美元和田722-677
電話0557-44-5500 FAX0557-44-5501

- クラシオン熱海 / クラシオンカフェ熱海
〒413-0102 熱海市下多賀804-2
電話0557-67-2360 FAX0557-67-2361
- クラシオンホテル熱海
〒413-0102 熱海市下多賀804-9
電話0557-67-2360 FAX0557-67-2361
- クラシオン伊豆の国 / クラシオンカフェ伊豆の国
〒410-2202 伊豆の国市天野6-3
電話055-947-5570 FAX055-947-5571
- 南熱海地域包括支援センター【熱海市香取】
〒413-0102 熱海市下多賀817-2-103
電話0557-67-7600 FAX0557-68-3800

ケアマネジメント ホームヘルプサービス デイサービス グループホーム 小規模多機能型居宅介護 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 福祉用具貸与・販売 地域包括支援センター 介護タクシー 障害者自立支援サービス バリアフリー住宅 保険外サービス 介護予防 介護相談



伊豆介護センターの最新情報はホームページからご覧いただけます。
<http://www.izukaigo.com/>

災害時緊急時情報交換掲示板のご利用について



当社ホームページには『災害時緊急時情報交換掲示板』が設置されています。ホームページを閲覧する全ての方々に災害時の安否確認や避難場所の状況、生活情報の共有といった交換の場として利用していただくことを目的としています。大規模災害発生時等の際に、ご家族や知人・友人等との連絡用ツールとしてご利用ください。※通常時はご利用ができませんのでご注意ください。

掲示板アドレス：http://www.izukaigo.com/bbs_chk.php
パソコンでも携帯電話でも閲覧ができます。

きめこま情報

vol. 20

平成24年6月発行



お昼にみんなでたこ焼き作り 上手にできたかな...?

@クラシオン

ま〜るく、おいしく出来ました!

人気お笑い芸人の母親が、扶養可能な親族がおりながら生活保護を受給していた問題から、最近また生活保護制度のあり方について議論されています。そして現在、全国の生活保護受給者は210万人を突破し、過去最高を更新中とのこと。

『勤労』し『納税』することは日本国民の義務です。ところが、高齢や障害等の理由により、働く意思があっても出来ず、やむを得ず受給に至るニーズは確実に存在します。しかし、高齢ではない世代の中には、「仕事が無い」という理由で勤労しない健康者も存在するようです。

一方で、介護職不足が社会で常態化されて久しく、つまり「いつも働き手が求められている」ということです。介護の仕事は、ある程度の専門的スキルを要し、質を追求すると奥は深いものの、他の職業と比べ特別難しいものではなく、また、全国どこの地域でも介護職は必要とされていることから、「仕事が無い」方々の挑戦に期待したいものです。

自己研鑽に励み、介護職として前向きに勤労できたなら、高齢の方々に喜んで頂ける充実感から、仕事のやりがいが見い出せるかもしれません。

『楽な仕事や自分のやりたい仕事を求め、到達できず、受給者となり、そのまま楽をして暮らしている』人を養うために勤労国民が納税することは、制度の趣旨にも、国民の意思にも、合っていないでしょう。

代表取締役 稲葉 雅之

各地のクラシオンで行われた
イベントなどを紹介します。

グループホーム クラシオン(3階)



水族館&ドライブに 行ってきました!!

3月25日(日)、グループホーム クラシオン3階のご入居者7名とスタッフ4名(現地にてご入居者のご家族1組)で伊豆・三津シーパラダイスに行ってきました。

水族館ではそれぞれのペースで見学出来、動画撮影などもしながら1時間程度滞在しました。

昼食はクラシオン伊豆の国のデフフロアでいただきました。伊豆の国のスタッフに巻き寿司を作って頂き、みなさん嬉しそうに、そして美味しそうに召し上がっていました。

天気にも恵まれ、ドライブも車中賑やかで、楽しい小旅行になりました。



☆色鮮やかな
熱帯魚に釘づけ。



☆クラシオン伊豆の国の
手作りお寿司美味しかった。

news & topics

■節電対策実施中!!

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

当社では、地球温暖化対策など環境問題及び電力不足による節電の必要性を踏まえ、昨年に引き続き「クールビズ」及び「節電」を実施いたします。

つきましては、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

エコな取り組み グリーンカーテン活動

本社、各施設ではグリーンカーテン活動に取り組んでいます。

グリーンカーテンには遮光効果があるため、日中の直射日光が部屋に入るのを防ぐことができます。

また、葉の蒸散による冷却効果もあるようで、それによりエアコン等の設定温度を下げる事ができ、省エネ効果も期待できます。植物の力を借りて、エコな節電対策です。

本社ではゴーヤを育てています。

収穫もまた楽しみです。ね。

写真はゴーヤ担当・ヘルパー手配の岩崎さんです。



■ロンドン2012パラリンピック

ポッチャ日本代表候補選手に内定!!

このたび、当社職員である経営企画室の杉村英孝さんが、8月29日~英国・ロンドンで開催される「ロンドン2012パラリンピック競技大会」のポッチャ競技

・日本代表候補選手に内定しました。(正式決定は7月です。)伊東市初のパラリンピック選手の誕生です。

メダル獲得に向けて、強化合宿や本社3階フロアでの個人練習など日々練習に励んでいます。

大舞台での杉村さんの活躍を祈っています。みんなで応援しましょう。



ポッチャとは Boccia

ポッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピック正式種目です。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青のそれぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

~社長とたまにケーション~

月1研修会 Report

第58回 各部署研修

在) 身体介護を実技で学ぼう スキルアップ研修

《2011年10月24・25日、本社3階》

入浴介助・オムツ交換・清拭・口腔ケア・階段介助・トイレ(ポータブル)介助の実技講習を行いました。

普段の業務で行われていることばかりですが、いろいろな質問や意見の中で、新たに技術の方法やコツを発見できたスタッフもいたようで、自分の仕事を見つめ直す良い機会となりました。



第59回 全体研修

3.11から私たちが学ぶべきこと

《2011年11月24日、本社3階》

東北地方太平洋沖地震から半年以上が経過した中で、いま私たちが学ぶべきことは何なのか...稲葉社長を講師に行われました。

大津波を経験した子供を含む人々の行動や感想が朗読で読み上げられ、小さな子供が体験した悲惨な事実が胸に締付けられる思いでした。

また、災害や津波が発生した際に人々が起こす行動心理を取り上げたNHK特番のDVDを鑑賞しました。

3.11から私たちが学ぶべきことは多くあり、その記憶を風化させないことが命を守ることだと感じました。



第60回 各部署研修

在) 在宅を支える~認知症の人といっしょに生きる~

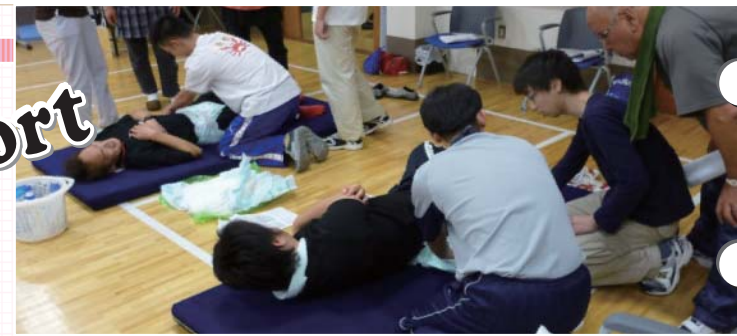
施) 認知症の人といっしょに生きる~施設介護の現場から~

《2011年12月20・21日、本社3階》

在宅系では、「認知症の人といっしょに生きる」というDVDを鑑賞しました。在宅を支援するチームとして現状を振り返り、今後の課題についてグループワークで議論しました。

また、これから流行し出すノロウイルス対策の説明がありました。

施設系でも同様のDVDを鑑賞しながら、環境要因によって認知症の症状が改善、または悪化する可能性があるのではないかという視点から検討を行いました。



第61回 全体研修

社長の年頭挨拶と新年会

《2012年1月6日、ホテル聚楽》

稲葉社長の年頭挨拶後、新年会が行われ、食事や歓談、レクリエーションを楽しみながら、スタッフ間の親睦を図りました。

第62回 各部署研修

在) 在宅ケアでの観察から考える疾患と対応方法

施) 制度改正

《2012年2月24日・28日、本社3階》



在宅系では、ご利用者が今どのような状態にあるか症状や訴えから推測をし、どのように対応をすべきか、また未然に防ぐにはどのような方法があるのかを、グループ形式で事例検討を行いました。

さまざまな視点から活発な意見交換がなされ、より早い発見! 対応! を心がけていきたいと改めて思いました。

施設系では、4月からの制度改正のポイントについて学びました。また、誤嚥や窒息時の対応についての講習もあり、タッピングやハイムリック法、吸引を実践しました。

第63回 各部署研修

在) 制度改正

施) 輝くあなたを新発見

《2012年3月27日・30日、本社3階》

施設系では、外部講師をお招きして「コーチング」を学びました。コーチングとは、「相手の話をよく聞き、良いところを認め、タイミング良く褒め、その人の目標の実現に向かって質問を繰り返す、自分で答えを見つけさせること」です。

人は「育てる」ものでなく「育つ」もの。まず自分を知り、自分の価値を見つけ、誰にも負けない強みを持つことが大切だということです。

日々ティーチング(相手の欠点を指摘し、答えを与えてしまう)が多い中、貴重な体験となりました。

在宅系では、4月からの制度改正の概要や、今後の方向性について学びました。

